

H-22016

令和4年3月10日

原子燃料工業株式会社

熊取事業所

焙焼炉 No. 2-1 焙焼炉、粉末取扱機の接合ボルト交換について

(ご質問)

「焙焼炉 No. 2-1 研磨屑乾燥機」の補修による接合ボルトの交換に関し、H-22011 において設計の流れ、経緯、変更の理由が説明されたが、「焙焼炉 No. 2-1 焙焼炉」及び「焙焼炉 No. 2-1 粉末取扱機」についても説明すること。

(回答)

「焙焼炉 No. 2-1 研磨屑乾燥機」及び「焙焼炉 No. 2-1 粉末取扱機」について、新規基準以前の設工認及び今回の申請における設計条件を、「焙焼炉 No. 2-1 研磨屑乾燥機」とあわせて以下に示す。いずれの設備についても今回の申請では水平震度が大幅に大きくなり、耐震上厳しい条件となっている。

・焙焼炉 No. 2-1 焙焼炉

項目	以前の設工認	今回の申請
耐震重要度分類	第1類	第1類
固有振動数 (Hz)		
剛構造/柔構造	柔構造	柔構造
水平震度	0.6	1.0

・焙焼炉 No. 2-1 粉末取扱機

項目	以前の設工認	今回の申請
耐震重要度分類	第2類	第1類
固有振動数 (Hz)		
剛構造/柔構造	柔構造	柔構造
水平震度	0.5	1.0

・焙焼炉 No. 2-1 研磨屑乾燥機

項目	以前の設工認	今回の申請
耐震重要度分類	第2類	第1類
固有振動数 (Hz)		
剛構造/柔構造	剛構造	柔構造
水平震度	0.28	1.0

これらの設備は、補修として接合ボルトの交換を行うこととしており、補修前及び補修後での検定比を以下に示す。「焙焼炉 No. 2-1 研磨屑乾燥機」及び「焙焼炉 No. 2-1 粉末取扱機」は、補修前の接合ボルトの検定比が 1.0 を超えるが、ボルトを交換することで検定比 1.0 以下となる設計としている。

設備	項目	補修前	補修後
焙焼炉 No. 2-1 焙焼炉	ボルト材質	[]	[]
	許容応力度	[]	[]
	ボルト検定比	[]	[]
焙焼炉 No. 2-1 粉末取扱機	ボルト材質	[]	[]
	許容応力度	[]	[]
	ボルト検定比	[]	[]
焙焼炉 No. 2-1 研磨屑乾燥機	ボルト材質	[]	[]
	許容応力度	[]	[]
	ボルト検定比	[]	[]

以上